

報道関係者各位

2021年11月15日  
福井コンピュータ株式会社

## BIM/CIM コミュニケーションシステム「TREND-CORE」の最新版を、 2021年12月14日（火）リリース

令和5年度のBIM/CIM原則適用に向け、段階的に整備される要領・基準等にも確実に対応！

建設業向けCADメーカーの福井コンピュータ株式会社（本社：福井県坂井市、代表取締役社長：杉田 直）では、BIM/CIM コミュニケーションシステム「TREND-CORE」の最新版となる Ver.8 を、2021年12月14日（火）に発売いたします。

国土交通省では、インフラ分野のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進の一環として、令和5年度までに公共工事におけるBIM/CIM<sup>※1</sup>原則適用を目指し、様々な業務や工事に対するBIM/CIM、i-Construction 関連要領・基準等の整備を急速に進めております。今回リリースする最新版では、「3次元モデル成果物作成要領（案）」への対応でBIM/CIM 運用支援の強化を図るとともに、i-Construction<sup>※2</sup>における「ICT 構造物工」と「ICT 法面工」への対応強化で、BIM/CIM や i-Construction 指定発注工事への対応を図りながら、業務と工事双方の効率化を支援してまいります。

※1：Building/Construction Information Modeling, Management の略で、建築・建設ライフサイクル全体でモデルに蓄積された情報を活用するワークフローの概念。

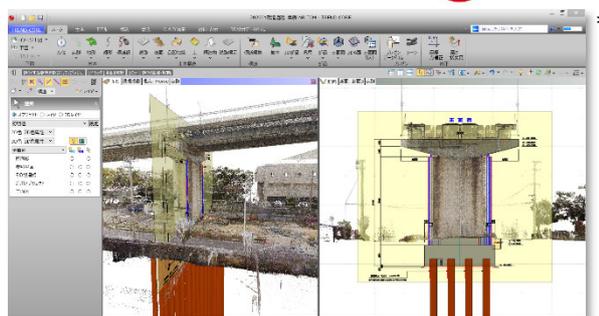
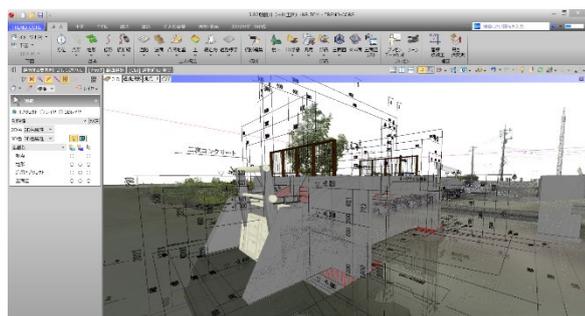
※2：ICTの全面的な活用で、建設生産システム全体の生産性向上を図り、魅力ある建設現場を目指す取り組み。

### 【最新版の概要】

- 3次元モデル表記標準に代わる「3次元モデル成果物作成要領（案）」に対応
- i-Construction の「ICT 構造物工」への対応を効率化する、関連製品との連携強化
- 法枠計画支援プログラム（オプション）の強化
- LandXML フォーマット関連の強化
- VR デバイス対応機種種の拡充

※詳しい機能は別紙参照

## TREND-CORE



【リリース日】2021年12月14日（火）

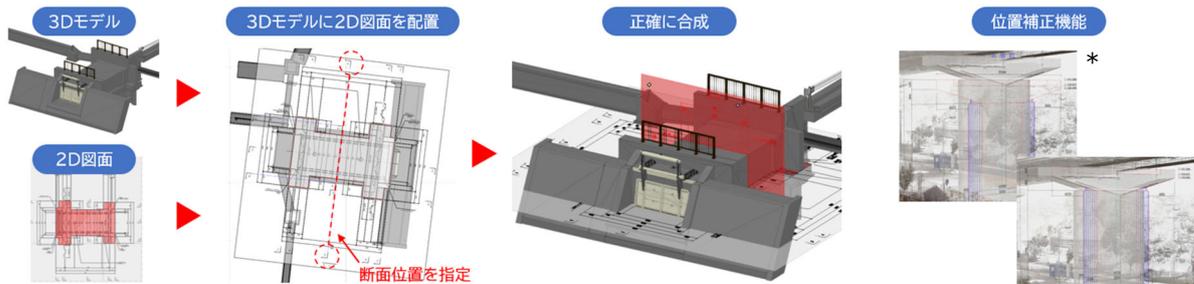
【価格】¥600,000～（税抜）

【本件に関するお問合せ】 福井コンピュータ株式会社 事業本部 営業推進課 担当：牧野  
福井県坂井市丸岡町磯部福庄 5-6 HP：<https://const.fukuicompu.co.jp/>  
Tel：0776-67-8860 問い合わせフォーム：<https://hd.fukuicompu.co.jp/contact/general.php>

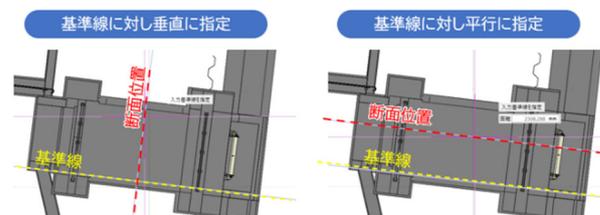
## 【別紙】各種新機能について

### ● 3次元モデル表記標準に代わる「3次元モデル成果物作成要領（案）」に対応

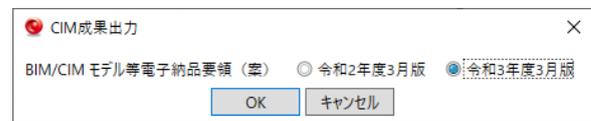
- 本要領（案）に則った工事において、読み込んだ 3D モデルに対し簡単かつ正確に 2D 図面（三面図）を配置できる機能を搭載しました。また、3D モデルと 2D 図面に微妙なずれがある場合でも簡単に補正することができ、正確な設計照査が可能にします。



- 角度がついた構造物モデルにおける、3DA（アノテーション）モデル<sup>\*</sup>の作成機能を強化しました。  
<sup>\*</sup> 3次元 CAD を用いて作成した 3 次元形状を表す形状モデルに、本標準で規定する構造特性（寸法・注記、数量等）とモデル管理情報を加えて作成したデジタル情報。

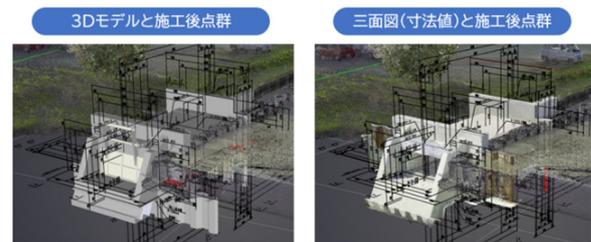


- 成果出力において、新たに BIM/CIM モデル等電子納品要領（案）及び同解説の令和 3 年 3 月版に対応しました。また令和 2 年 3 月版と使い分けた運用にも対応可能です。



### ● i-Construction の「ICT 構造物工」への対応を効率化する、関連製品との連携強化

- 施工後の点群と合成した出来形評価を実現するために、3D モデルと三面図を弊社の 3D 点群処理システム「TREND-POINT」に連携させることが可能<sup>\*</sup>になります。  
<sup>\*</sup>「TREND-POINT」側は、今冬リリース予定の次バージョンからの対応となります。



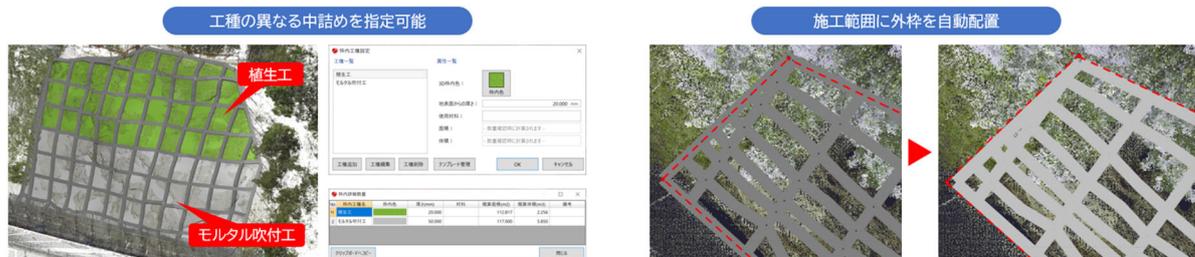
※画面は開発中の「TREND-POINT」に連携させた例です。

- 弊社の現場計測アプリ「FIELD-TERRACE」用のデータとして、3D モデル（TIN）と構造物センターなどの線形要素をワンアクションで出力、連携させることが可能になりました。



## ● 法枠計画支援プログラム（オプション）の強化

- 法枠工の中詰めについて、場所によって異なる工種の設定が可能になりました。
- 法枠工の外枠が施工範囲内に収まるように自動配置される機能を追加しました。
- その他、法枠編集における各種機能を強化しております。



## ● LandXML フォーマット関連の強化

- 「LandXML1.2 に準じた 3 次元設計データ交換標準（案）」（J-LandXML Ver.1.4）に対応※しました。  
※J-LandXML Ver.1.4 における OCF 検定（LandXML に準じた 3 次元設計データ対応検定）は、2022 年 2 月認証取得予定です。
- LandXML の出力形式の設定項目を追加し、ICT 建機ソフトウェアでの読み込みエラーを低減します。

## ● VR デバイス対応機種種の拡充

- 「TREND-CORE VR」に対応するヘッドマウントディスプレイ機器について、新たに HTC 社の「VIVE Focus3」および「VIVE Pro2」に対応しました。  
※HTC VIVE の詳細につきましては、HTC 社公式サイト (<https://www.htc.com/jp/>) をご確認ください。

## ● その他

- これまで、製品名の表記について、CIM コミュニケーションシステム「TREND-CORE」としておりましたが、本バージョン以降は、BIM/CIM コミュニケーションシステム「TREND-CORE」と、一部変更いたします。

◎各画像に使用されているデータ提供元：\*は株式会社鏡原組（沖縄県）、それ以外はカナツ技建工業株式会社（島根県）

以上